

情報通信審議会 情報通信技術分科会（第144回）議事概要

1 日時 令和元年7月23日（火） 14時00分～15時20分

2 場所 総務省 第1特別会議室（8階）

3 出席者

（1）委員（敬称略）

西尾 章治郎（分科会長）、相田 仁（分科会長代理）、
伊丹 誠、上條 由紀子、國領 二郎、三瓶 政一、
知野 恵子、平野 愛弓、増田 悦子、森川 博之（以上10名）

（2）専門委員（敬称略）

多氣 昌生（以上1名）

（3）その他関係者（敬称略）

上 芳夫（高速電力線搬送通信設備作業班 主任）、
茨木 久（国立研究開発法人情報通信研究機構 理事）、
矢野 博之（国立研究開発法人情報通信研究機構 執行役）

（4）総務省

（国際戦略局）

二宮 清治（官房審議官）、柴崎 哲也（総務課長）、
松井 俊弘（技術政策課長）

（総合通信基盤局）

谷脇 康彦（総合通信基盤局長）、田原 康生（電波部長）、
今川 拓郎（総務課長）、布施田 英生（電波政策課長）、
白石 昌義（電波環境課長）、関口 裕（電波利用環境専門官）

（5）事務局

後潟 浩一郎（情報流通行政局総務課総合通信管理室長）

4 議 題

答申事項

- ① 「国際無線障害特別委員会 (CISPR) の諸規格について」のうち「広帯域電力線搬送通信設備の利用高度化に係る技術的条件」について

【昭和63年9月26日付け電気通信技術審議会諮問第3号】

【内容】

本件は、広帯域電力線搬送通信設備について、これまで100V又は200Vの単相交流用電力線に限っていたものを、近年のニーズを踏まえ、600V以下の単相及び三相交流用電力線の利用も可能とするなど、その利用高度化に係る技術的条件について検討を行ったもの。

審議の結果、電波利用環境委員会から報告があったとおり、答申案を了承し、答申することとした。

報告事項

- ① 科学技術政策の動向について

【内容】

本件は、総合科学技術・イノベーション会議や統合イノベーション戦略推進会議における検討状況等を中心に、最近の科学技術政策の動向について、総務省から報告があったもの。

- ② 国立研究開発法人情報通信研究機構の最近の取組について

【内容】

本件は、国立研究開発法人情報通信研究機構の最近の取組について、情報通信研究機構より報告があったもの。

本会議にて配付された資料を御覧になりたい方は、総務省HPにおいて公開しておりますので御覧下さい。

また、総務省において、閲覧に供し及び貸し出しておりますので、以下まで御連絡をお願いいたします。

担 当：総務省 情報流通行政局 総務課 総合通信管理室
調整係 崎山、新谷

電 話：03-5253-5432

F A X：03-5253-6063

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策をしているため、/●/を@に置き換えてください。